

# 歴史History

—地域の歴史を知ってもっと町を好きになろう



## 1 記念碑のある浜

前ページにて紹介

## 2 柳島閘門跡と記念碑

前ページにて紹介

## 3 殿島神社

祭神は市杵島姫命（イチキシマヒメノミコト）。祭礼は4月5日。安らかに祭られている八臂弁財天（八つの腕を持った弁財天）がある。



## 4 藤間柳庵と藤間資料館

前ページにて紹介

## 5 柳島八幡宮



祭神は菅田別命。例祭は9月14日。万治3年（1660）頃創建。藤間柳庵之碑・関東大地震で折れた鳥居のモニュメント・復興記念碑などがある。



・関東大地震  
折れた鳥居のモニュメント



・八幡宮復興碑



・藤間柳庵碑

## 6 善福寺



柳島山 宝亀院と号し高野山 真言宗 享徳年間（1452-1455）創建 藤間（柳庵）家の菩提寺でもあります。



・藤間柳庵の墓

## 7 松尾神明神社



祭神は天照大神。例祭は9月16日 関東大地震記念碑は境内の西南の隅にあり、市内では珍しい巨神大神などがあります。



・関東大地震記念碑

## 16 浄林寺

浄林寺は浄土宗で、寺伝によれば須賀村（平塚市）の海宝寺の隠居所として、永禄2年（1559）に創建されたといわれます。本尊の阿弥陀如来像は、元禄6年（1693）の銘があり、美しい姿をしています。



## 15 南湖の左富士

浮世絵師安藤廣重は天保3年（1832）に東海道を旅した。東海道五十三次の風景版画の中に南湖の左富士がある。東海道のうち左手に富士山が見える場所はこと吉原（静岡県）の二か所が有名。



## 14 旧相模川橋脚

源頼朝の家臣だった稲毛重成が、先に亡くなった妻の供養のため、相模川に架けた橋の橋脚と考えられています。関東大地震と翌年の余震で出現しました。



## 13 なんどき橋

国道1号線が産業道路と交差する辺りに、何どき橋がありました。何どき橋の辺りは寂しいところで、夜中に橋を渡っていると、橋の下からぼんやりと女性が現れ、「今、なんどきだー」と聞くそうです。恐ろしくてもそのまま時刻を答えれば何事もなく、答えず逃げ出すと、必ず災難が降り掛かった。と伝えられています。

## 12 馬入の渡し

村を通る東海道のかたわらに番屋というのがありました。これは、洪水で相模川が渡れないとき、徳川幕府や尾張、紀伊両藩などの公文書を留めておくためのもので、村人が守っていました。ここが馬入の渡し場があった場所でした。

## 11 殿道

陣屋跡から東海道に向かう細道を殿道と呼びます。この道は縁起の良い道とされ、昔、結婚式を家々で行っているところは、花嫁は遠回りをして、この道を通って花婿が待つ婚家へ向かったそうです。



## 8 善性寺



鶴嶺八幡宮の社僧のひとつであったという。万治3年（1660）に僧清印が中興再建し、善性寺と号したという。現本堂は昭和57年（1982）再建。

## 9 日枝神社



祭神は大山咋命。祭礼は7月の第3日曜日。天正19年（1591）創建。もとは山王社といい、江戸時代の領主山岡景長の銘のある「山王」の扁額が残っています。境内右手に享保8年（1723）と安永3年（1774）の銘がある庚申塔がある。中島の鬼門除けとして祀られています。

## 10 陣屋跡

日枝神社前の一角は、陣屋跡と呼ばれ、江戸時代の中島村の領主山岡氏の屋敷がありました。天正19年（1591）徳川家康が山岡庄右衛門景長に、この村（80石4斗）を与えると古文書に記されています。